

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

信州大学サステナブル社会協創学環は、地球・自然・社会・人間の関係性を再生・再定義し、持続可能かつウェルビーイングな社会を創出する人材を育成することを目的とする。本学環では、文理を横断した学術的探究と社会実践を通じ、以下の「4つのシコウ(志向・思考・試行・至高)」に基づき、学際的な知と行動力を統合的に高めることを重視する。

1.志向(パーソナリティ・マインド)

人間性・倫理観・協創意識を基盤とし、自らの人生や社会における役割を主体的にデザインできる。自己理解と他者理解を深め、自己肯定感と自発性をもって多様な価値観と共に生き、協働できる。

2.思考(知識・スキル)

環境・社会・経済・文化を総合的に理解し、「地球と人類社会の持続可能(サステナブル)な関係」をデザインするための学術的知識とスキルを修得している。具体的には、「地球と人類社会のサステナブルな関係」構築に向けて、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミー、カーボンニュートラル、グリーンテック、防災・減災、ウェルビーイング、健康科学、社会福祉、法制度、公共政策、経営・地域経済循環、データサイエンスやAI活用などを統合的に学修する。

①ネイチャー・デザインコース

自然(地球)と人間社会との関係を再生・再定義する視点から、自然資本の回復や再生可能資源の次世代的活用を探究する。環境倫理、ランドスケープ・エコロジー、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミー、カーボンニュートラル、グリーンテクノロジー、防災・減災などを通じ、再生的な社会システムをデザインする力を修得している。

②ウェルビーイング・デザインコース

個人と社会のウェルビーイング(幸福・健康・共感的関係性)の在り方を探究し、社会的・心理的健全性と持続可能な生活様式を構想する。哲学・心理学、経営学、教育学、医療・福祉学などを基盤とし、共感・協働・共創を推進するための人間中心の社会システムをデザインする力を修得している。

③ソーシャル・デザインコース

地域社会・企業・自治体・国際社会など多層的なレベルで、協働的・包摂的な社会制度とガバナンスを構築・運営・改善する方法を学ぶ。環境法・制度設計、公共政策、社会デザイン、国際協創、地域経済、制度設計などを通じ、持続可能な社会システムをデザインする力を修得している。

3.試行(実践・行動)

自己の関心事に始まり、社会や地域の現場に根ざした実践的学修(RBL・PBL・アクションリサーチ等)を通じて、現場と繋がり、問題発見・解決・価値協創の力を発揮できる。企画力・創造力・調整力・プレゼンテーション力を養い、グローバルな視点から多様な文化・社会との協働を実践している。

4.至高(価値創造)

多様な専門知と社会実践を統合し、協創により新しい価値を創出する力を備えている。自然・社会・人間の共生を実現するためのソーシャルイノベーションを構想・実装し、自らのキャリアを通じて持続可能な未来社会の形成に貢献できる。